

抗菌薬適正使用支援チーム（Antimicrobial Stewardship Team : AST）専従薬剤師による全注射用抗菌薬使用患者への介入が予後に与える影響の検討への協力 のお願い

研究の目的

感染症とは、体内にウイルスや細菌などが侵入し、増殖して発熱や腹痛、嘔吐、下痢などの症状がでることをいいます。特に菌血症は、細菌が血液に入る重症の感染症です。治療は抗菌薬(抗生物質)で行いますが、抗菌薬が効かなくなる耐性菌の出現などにより最初に投与していた薬が、細菌に効かないことが後でわかることがあります。その為、抗菌薬が効かなくなる耐性菌を作らない、広げないことが重要視されており、当院でも多職種から構成されるチーム、抗菌薬適正使用支援チーム（Antimicrobial Stewardship Team : AST）が活動しております。AST の取り組みによる抗菌薬の適正使用が、患者様にどのような影響を与えるかを調べるのがこの研究の目的となります。

研究の方法

公立学校共済組合近畿中央病院で下に該当する患者様のカルテを拝見し、データを収集、解析します。研究実施期間は臨床研究審査委員会に承認された 2017 年 8 月 1 日から、2020 年 7 月 31 日としております。

● 2017 年 8 月 1 日から 2019 年 7 月 31 日までの間に当院入院中に抗菌薬を使用した方（手術目的で入院された方は除外されます。）

以下の情報を集めます。

- 基本的な情報：年齢、性別、基礎疾患、診断名など
- バイタルサイン：体温、血圧、脈拍、呼吸数、SpO2、意識状態
- 検査値：白血球数、ヘマトクリット、血小板数、血清 CRP 値、血液尿素窒素、ナトリウム、血糖、動脈血二酸化炭素分圧など
- 血液培養検出菌
- 使用した抗菌薬、外科的手技（ドレナージ、手術など）の有無などの治療内容

プライバシーの保護

データ収集の際には、みなさんの個人を特定しうる情報（個人識別情報）は院内で厳重に管理します。個人が特定されないよう匿名化し、データの解析を行います。この研究の成果は、学会や医学雑誌などに発表する予定ですが、その際にみなさんの名前や身元が明らかになることはありません。また、この研究は当院の倫理委員会の承認を得ており、みなさんの権利が守られることが確認されています。提供いただいた情報は下記に記載の研究者が利用します。

研究担当者および連絡先 この研究に関してご質問がある場合や、対象となる方でご自身のデータが研究に利用されることを拒否される場合は、お手数ですが以下の連絡先へご連絡ください。

公立学校共済組合近畿中央病院 抗菌薬適正使用支援チーム (氏名) 尾花 祥世
(相談窓口):公立学校共済組合近畿中央病院 072-781-3712(代)